

# 自分らしく生きるを伝える 「なおとらシート」のための訪問看護師の活動

**目的** 訪問看護師は「なおとらシート」を用いて どのように意思決定支援 (ACP)を行っているだろうか？

## ● 「なおとらシート」のACPを行うために

- 必要な利用者さんに実施している。(療養の変化や利用者さんからの要望がある人)
- 訪問時のどのように行つか、行えるかを計画して訪問する
- 利用者さんのペースに合わせて、丁寧に行うも、疲労や負担に留意している

## ● 「なおとらシート」のACPを行ってみて得たこと

- 利用者さんはなおとらシートで話ができたと安心や安堵した様子が見られた
- 療養者の気持ちや意向を聞き出し、伝える準備ができた

## ● 「なおとらシート」のACP支援の課題

- 利用者の意向は支援した看護師だけに伝えられている
- 利用者の家族、ケアチームには**表明されていない、伝えられていない**
- 訪問看護師はACPの**すすめ方・スキルに不安**がある

訪問看護の利用者にACPを実施した訪問看護師6名の聞き取りから



## 「なおとらシート」のこと

- 浜松市北区意思決定支援プロジェクトは、訪問看護の利用者のための**意思決定支援ツール「なおとらシート」**を作成
- 患者・家族は、人生最期の段階の医療ケアへの意向 (アドバンスケアプランニング ; ACP)を話すこと戸惑いや抵抗
- 医療者も患者・家族とのACPのコミュニケーションについては日頃、難しさを感じている



## 「なおとらシート」を用いたACPを広げる活動

- 利用者のACPを支援できる**専門職にむけての活動**
- 利用者のACPと一緒に話し、受けとめ代弁できる

## 市民にむけての活動

**市民への活動** : 絵本や詩・ピアノを通じ、ACPIについて優しく伝える講演

2019年度地域の異なる多職種連携による在宅医療・介護連携推進事業  
2019年度浜松市多職種連携推進事業「市民参加型意思決定支援センター」創設  
浜松市北区意思決定支援プロジェクト  
静岡県医師会同組合共催

# 生きるを考える

～最期まで自分らしく～

絵本とピアノの世界から

2020年  
2月16日 日 13:30～15:30 13:00～受付開始

場所: 細江町 みをつくしホール  
浜松市北区細江町気貫369(北区役所前)

参加費 無料

■1部 ACPやエンドオブライフケアについて ミニレクチャー  
■2部 ～ 命や死をテーマに、絵本の世界から ～  
■3部 ～ 命や死をテーマに、ピアノの世界から ～

講師: 足立智学先生 (名古屋大学教授 東京女子医科大学非常勤講師)  
講師: ピアノ: 高橋在也先生 (早稲田大学大学院医学研究科准教授 東京女子医科大学非常勤講師)

お申し込み \*浜松市の「人生会議手帳」説明、配布、「なおとらシート」の個人展示もありません

FAX 訪問看護ステーション細江 尾田宛 FAX: 053-414-5100



## 参加者の声から

自分の人生を良い物にするために大切な話でした。感じたことを言葉や文書にしたり音で表現することは自分の心を豊かにしてくれました。いろいろな視点で「生きる」ことを考えることができることを知りました

研究者: 酒井昌子\*1)、山村江美子1)、小池武嗣1)、朝比奈結華2)

1) 聖隷クリストファー大学、2) 静岡県中部看護専門学校

